

安 全 情 報

No 4 / 2017

大使館付近においてけん銃使用による強盗未遂事件が発生

3月8日(水)午前9時頃、カラカス首都圏チャカオ市カステジャーナ地区に所在する在ベネズエラ日本大使館付近において、けん銃使用による強盗未遂事件(被害者:ベネズエラ人)が発生しました。チャカオ市では、昼夜を問わず、強盗事件が多発しており、下記の情報をご参照頂き注意をお願いします。

記

1 発生日時

平成29年3月8日(水)午前9時頃

2 発生場所

カラカス首都圏チャカオ市カステジャーナ地区 Torre la Castellana ビル前路上(在ベネズエラ日本国大使館から北に約100メートルの地点)

3 被害者等

ベネズエラ人男性

4 概要

被害者が、徒歩で通行中、背後から二人乗りのバイクが近づき、バイクが停車すると同時にバイクの後方に乗っていた男が降車し、被害者にけん銃を突きつけて脅しました。被害者は、あまりの突然のことに驚き、車が往来する中、危険を顧みず道路を渡って逃げました。幸いにも往来の車が停車したため、被害者は交通事故を免れたほか、事件を見た他の通行人が大声を上げたため、犯人は発砲することなくそのままバイクに乗って逃走しました。

5 注意事項

- (1) 比較的治安の良いチャカオ市やスクレ市西部でも、昼夜問わず、強盗事件が発生しているほか、その多くでけん銃が使用されています。抵抗した場合、発砲される可能性が高いことから、絶対に抵抗しないようにして下さい。
- (2) 強盗被害に遭った場合、直ぐに現金等を差し出せるように、見せ金や古い携帯電話を所持しておくことも有効です。
- (3) 路上や車内でスマートフォンを操作していると標的にされるおそれがあります。また、

犯人は、少しでもお金をもっていそうな外国人を狙う傾向にあることから、常に、周りから見られているという前提に立ち、目立つ行動は控えるようにして下さい。

(4) 深夜帯に入ると、薬物常習者が街頭に出てきます。彼らは、その薬の影響から簡単に発砲したりするため、極めて危険です。深夜帯は、強盗の件数は減少傾向にあるものの、身体への危険度は昼間帯よりも高まることから、外出を控えるようお願い致します。